

令和4年度第2回越前市地域公共交通会議

議事次第

日時 令和5年3月22日(水) 午後2時から
会場 越前市役所 3階 第3委員会室

1 新任委員紹介

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 地域公共交通の令和3年度、4年度実績等について
 - ①福井鉄道福武線について 【本編P1】
 - ②福井鉄道路線バスについて 【本編P9】
 - ③市民バスについて 【本編P10】
- (2) 危険バス停の移設について 【本編P12】
- (3) 市民バス及び路線バスの停留所名変更について 【本編P14】
- (4) 越前たけふ駅二次交通需要調査結果概要について 【本編P15】

4 協議事項

- (1) デマンド交通実証実験について 【本編P23】
- (2) 自家用有償旅客運送実証実験について 【本編P26】

5 その他

- (1) 株式会社ハピラインふくい王子保・武生駅間新駅整備について
- (2) 北府駅鉄道ミュージアム整備事業について
- (3) 道の駅「越前たけふ」オープンについて
- (4) ㈱TOP×金沢大学連携事業、小型EV活用プラン報告会

以上

輸送人員 【計画】 輸送人員の増加
〔令和4年度220万人目標〕

【実績】 令和元年度 198.8万人

↓ -23.1万人

令和3年度 年間175.7万人(前年度+16.7万人)

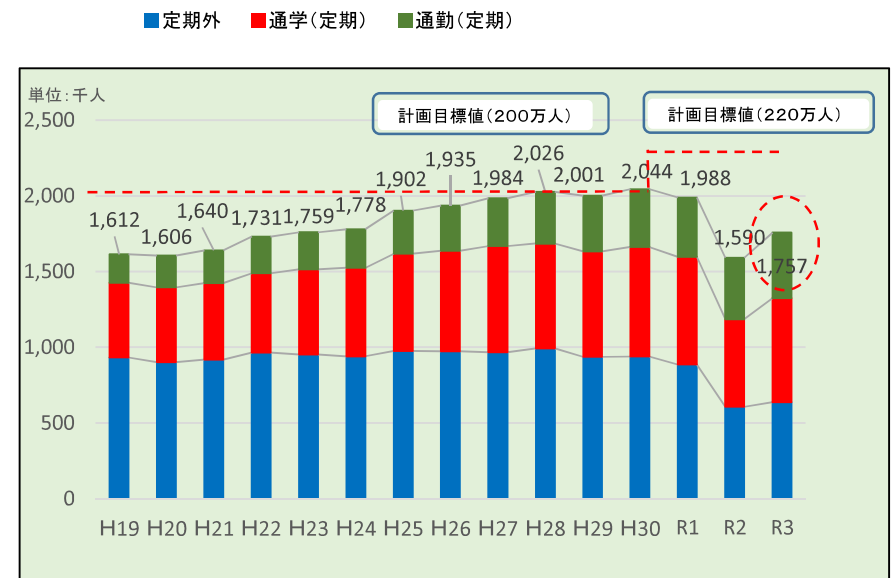
【福井鉄道(株)の概要】

- ・会社設立 : 昭和20年 8月 1日
- ・営業開始 : 大正13年 2月23日
- ・線路・キロ : 福武線(21.5km)

種別	令和3年度	令和元年度	対前年比	比較増減	
旅定期回数券	人	223,392	272,145	82.1%	-48,753
	人	413,598	612,865	67.5	-199,067
	人	636,990	884,810	72.0	-247,820
客定期計	人	1,119,620	1,103,500	101.5	16,120
	人	1,756,610	1,988,310	88.3	-231,700
走行キロ	km	1,942,537	1,935,757	100.4	6,780

種別	令和3年度	令和元年度	対前年比	比較増減	
旅定期回数券	円	44,243,426	56,694,217	78.0	-12,450,791
	円	90,045,182	136,090,914	66.2	-46,045,732
	円	134,288,608	192,785,131	69.7	-58,496,523
客定期計	円	157,218,811	149,128,626	105.4	8,090,185
	円	291,507,419	341,913,757	85.3	-50,406,338
入運輸雑収	円	10,758,134	13,883,494	77.5	-3,125,360
合計	円	302,265,553	355,797,251	85.0	-53,531,698

輸送人員の推移(H19~R3)

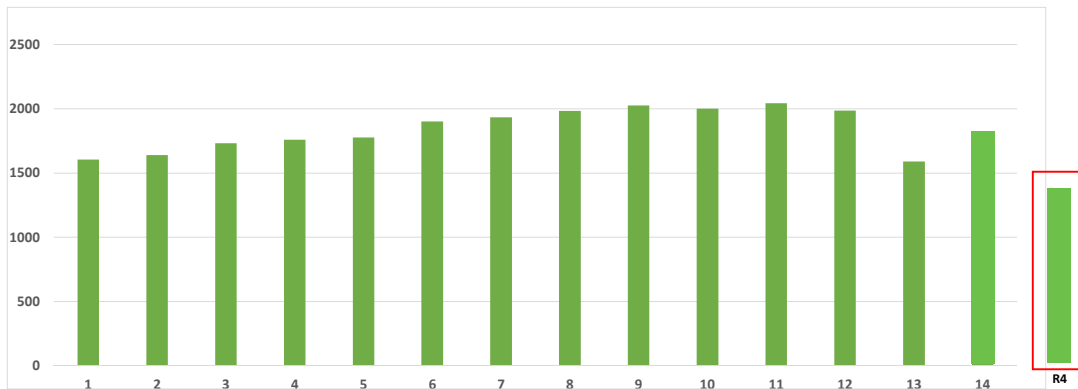


福井鉄道福武線の乗車実績

単位:千人

		令和4年4月～12月	令和3年4月～12月	増減	増減率
福武線	定期外	545	470	+75	+16.0%
	定期	868	861	+7	+0.8%
	計	1,413	1,331	+82	+6.2%
福鉄・えち鉄相互乗入		132	110	+22	+20.0%

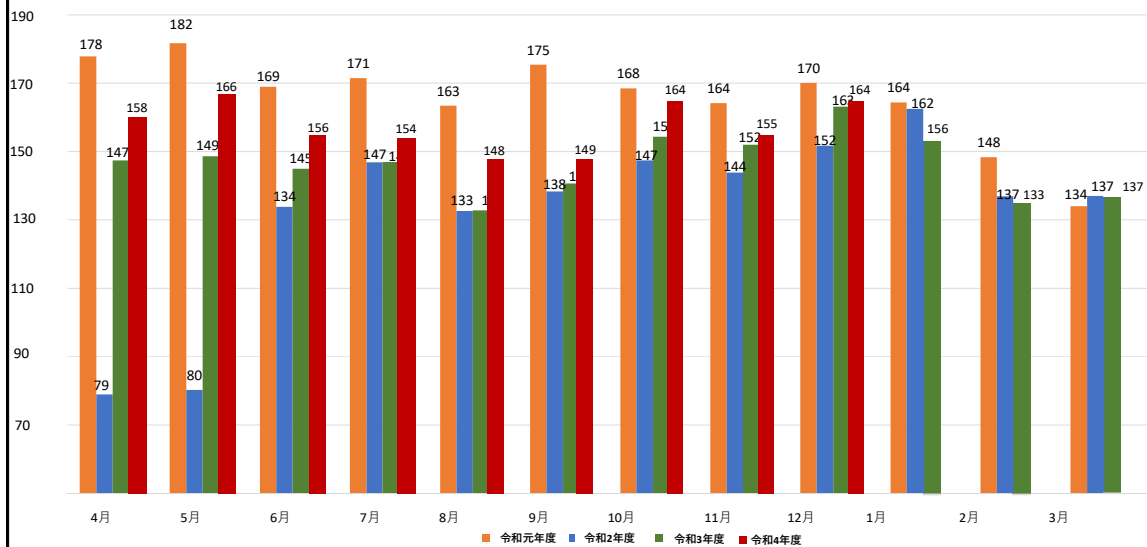
●福井鉄道福武線乗車実績の推移(年度別) 【単位：千人】



H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1,606	1,640	1,731	1,759	1,778	1,902	1,935	1,984	2,026	2,001	2,044	1,988	1,590	1,757	1,413

※ 令和4年度は12月末の数字

●福井鉄道福武線の乗車実績比(月別・直近3カ年) 【単位：千人】



※4月以降乗車人員数は回復傾向にあり、4～9月の利用者は、元年度比90%
 ※10～12月の利用者は、元年度比96%まで回復

旅客輸送表

駅	令和3年度上半期				令和4年度上半期				増減
	定期		定期外	乗車人員計	定期		定期外	乗車人員計	
	通勤	通学			通勤	通学			
越前武生	17,401	27,609	25,931	70,941	17,103	25,306	33,391	75,800	4,859
北府	3,876	30,338	5,368	39,582	4,301	31,238	9,147	44,686	5,104
スポーツ公園	2,301	1,913	2,561	6,775	1,978	1,899	2,190	6,067	△ 708
家久	2,270	10,298	5,712	18,280	2,258	9,118	7,127	18,503	223
越前市計	25,848	70,158	39,572	135,578	25,640	67,561	51,855	145,056	9,478
サンドーム西	3,128	9,097	3,253	15,478	3,753	9,364	4,303	17,420	1,942
西鯖江	6,730	15,782	16,929	39,441	6,650	11,986	21,478	40,114	673
西山公園	1,355	360	1,486	3,201	1,365	635	1,952	3,952	751
水落	8,000	11,854	6,478	26,332	8,184	9,730	7,263	25,177	△ 1,155
神明	17,676	61,200	27,064	105,940	14,122	66,510	33,753	114,385	8,445
鳥羽中	1,254	5,823	4,651	11,728	1,864	6,965	5,867	14,696	2,968
鯖江市計	38,143	104,116	59,861	202,120	35,938	105,190	74,616	215,744	13,624
三十八社	3,088	4,629	2,186	9,903	2,996	4,281	2,440	9,717	△ 186
泰澄の里	3,549	4,030	1,846	9,425	3,447	3,882	2,416	9,745	320
浅水	11,532	36,298	14,787	62,617	12,573	36,656	17,408	66,637	4,020
ハーモニー	1,546	844	4,166	6,556	1,450	1,187	5,639	8,276	1,720
清明	5,441	2,129	5,557	13,127	5,910	2,664	5,652	14,226	1,099
江端	10,304	2,996	5,929	19,229	10,707	2,415	6,115	19,237	8
ベル前	16,990	10,534	29,826	57,350	14,929	9,920	33,870	58,719	1,369
花堂	2,650	2,689	2,924	8,263	2,623	4,143	2,872	9,638	1,375
赤十字前	12,069	7,480	18,453	38,002	13,759	8,811	20,928	43,498	5,496
商工会議所前	4,010	176	2,623	6,809	4,711	275	3,559	8,545	1,736
足羽山公園口	1,389	482	1,641	3,512	1,391	345	1,794	3,530	18
福井城址大名町	19,210	927	17,804	37,941	20,160	928	20,920	42,008	4,067
福井駅	15,860	8,697	29,794	54,351	15,048	11,648	39,382	66,078	11,727
仁愛女子高校	7,973	17,153	3,956	29,087	7,750	17,590	3,671	29,011	△ 76
田原町	40,131	77,972	49,352	167,455	42,340	81,544	56,337	180,221	12,766
福井市計	155,747	177,036	190,844	523,627	159,794	186,289	223,003	569,086	45,459
計	219,738	351,310	290,277	861,325	221,372	359,040	349,474	929,886	68,561

2022年度福井鉄道福武線 月別乗車人員

(単位:人、%)

	2019年度			2022年度					増減				各月までの 累計の増減					
	定期	定期外	計	通勤	通学	定期計	定期外	計	通勤定期	通学定期	定期外	計						
4月	94,658	83,136	177,794	36,910	57,036	93,946	64,136	158,082	2,402	107.0	△3,114	94.8	△19,000	77.1	△19,712	88.9	△19,712	88.9
5月	99,128	82,500	181,628	37,504	67,326	104,830	60,961	165,791	5,440	117.0	262	100.4	△21,539	73.9	△15,837	91.3	△35,549	90.1
6月	96,932	72,019	168,951	36,922	64,386	101,308	54,284	155,592	4,704	114.6	△328	99.5	△17,735	75.4	△13,359	92.1	△48,908	90.7
7月	95,118	76,337	171,455	36,970	60,156	97,126	56,713	153,839	2,866	108.4	△858	98.6	△19,624	74.3	△17,616	89.7	△66,524	90.5
8月	86,890	76,495	163,385	36,892	51,692	88,584	59,051	147,635	4,416	113.6	△2,722	95.0	△17,444	77.2	△15,750	90.4	△82,274	90.5
9月	92,050	83,376	175,426	36,174	58,444	94,618	54,329	148,947	4,246	113.3	△1,678	97.2	△29,047	65.2	△26,479	84.9	△108,753	89.5
10月	97,974	70,523	168,497	36,588	61,928	98,516	65,515	164,031	3,068	109.2	△2,526	96.1	△5,008	92.9	△4,466	97.3	△113,219	90.6
11月	93,784	70,438	164,222	35,174	60,134	95,308	59,609	154,917	3,236	110.1	△1,712	97.2	△10,829	84.6	△9,305	94.3	△122,524	91.1
12月	93,280	76,847	170,127	36,160	57,802	93,962	70,038	164,000	3,490	110.7	△2,808	95.4	△6,809	91.1	△6,127	96.4	△128,651	91.7
1月	93,404	70,998	164,402	36,384	58,820	95,204	65,658	160,862	3,660	111.2	△1,860	96.9	△5,340	92.5	△3,540	97.8	△132,191	92.3
2月	84,526	63,825	148,351	33,480	50,834	84,314	67,665	151,979	2,622	108.5	△2,834	94.7	3,840	106.0	3,628	102.4	△128,563	93.1
3月	75,756	58,316	134,072			0		0										
累計	1,103,500	884,810	1,988,310	399,158	648,558	1,047,716	677,959	1,725,675										

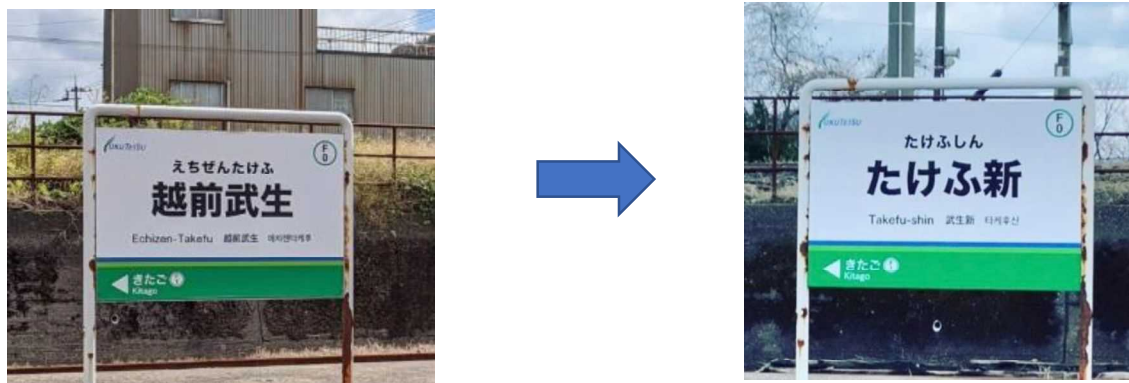
※2022年度利用目標：1,783,000人

(単位:人、%)

	2020年度			2021年度					増減				各月までの 累計の増減					
	定期	定期外	計	通勤	通学	定期計	定期外	計	通勤定期	通学定期	定期外	計						
4月	56,060	22,842	78,902	37,560	56,812	94,372	53,073	147,445	3,606	131.8	34,706	99.7	30,231	232.3	68,543	186.9	68,543	186.9
5月	48,776	31,438	80,214	37,432	64,534	101,966	46,654	148,620	5,008	128.7	48,182	99.7	15,216	148.4	68,406	185.3	136,949	186.1
6月	84,354	49,472	133,826	35,946	62,060	98,006	46,958	144,964	3,464	125.6	10,188	99.0	△2,514	94.9	11,138	108.3	148,088	150.6
7月	92,262	54,586	146,848	36,702	58,504	95,206	51,687	146,893	2,194	124.5	750	100.6	△2,899	94.7	45	100.0	148,133	133.7
8月	86,658	45,955	132,613	36,462	51,250	87,712	45,069	132,781	2,626	125.1	△1,572	100.8	△886	98.1	168	100.1	148,301	125.9
9月	89,040	49,258	138,298	35,636	58,150	93,786	46,836	140,622	2,974	126.5	1,772	103.9	△2,422	95.1	2,324	101.7	150,625	121.2
10月	93,484	53,934	147,418	36,466	62,008	98,474	55,822	154,296	2,388	124.9	2,602	103.0	1,888	103.5	6,878	104.7	157,502	118.4
11月	91,730	52,153	143,883	35,658	60,258	95,916	56,063	151,979	1,916	126.4	2,270	99.7	3,910	107.5	8,096	105.6	165,598	116.5
12月	91,380	60,382	151,762	36,124	59,272	95,396	67,722	163,118	956	124.7	3,060	98.6	7,340	112.2	11,356	107.5	176,955	115
1月	89,938	72,553	162,491	36,526	58,386	94,912	60,813	155,725	1,522	128.5	3,452	95.7	△11,740	83.8	△6,766	95.8	170,189	112.9
2月	82,156	54,749	136,905	32,870	50,012	82,882	50,269	133,151	796	128.8	△70	93.4	△4,480	91.8	△3,754	97.3	166,435	111.5
3月	78,304	58,727	137,031	36,212	44,780	80,992	56,024	137,016	1,022	129.6	1,666	93.6	△2,703	95.4	△15	100.0	166,420	110.5
累計	984,142	606,048	1,590,190	433,594	686,026	1,119,620	636,990	1,756,610	28,472	127.1	107,006	99.1	30,942	105.1	166,420	110.5		

※2021年度利用目標：1,713,000人

福井鉄道「越前武生駅」改名日明らかに 北陸新幹線開業で「たけふ新駅」へ



福井鉄道が1月25日、越前武生（えちぜんたけふ）駅（越前市府中3）の「たけふ新駅」への駅名変更日を発表した。

変更日は2月25日。改名により旧駅名となる越前武生駅が記載された定期券、回数券、乗車券類は有効期限終了までそのまま使うことができる。

改名は、2024年春、越前市内に北陸新幹線「越前たけふ」駅が開業することを受けて行われる。同社は2021年、「福鉄たけふ」「越前府中」など5つの駅名候補を示して一般投票を受け付け、選定会議を経て新駅名を決めた。

越前武生駅は1924（大正13）年に「武生新駅」として開業。2010（平成22）年に現駅名への変更につながる2度目の改名となる。

新型車両「フクラムライナー」の新規導入について

3月27日(月)から、福井鉄道福武線及びえちぜん鉄道三国芦原線との相互直通運転(鷺塚針原駅まで)を開始します。

【車両概要】

- 車両型式: F2000形
- 愛称: FUKURAM Liner(フクラムライナー)
- 車体構造: 3車体3台車式
- 定員: 115人(着席、立席)
- 車両長さ 21.4m 車両幅 2.6m 車両高さ 3.8m 重量 33トン
- 主電動機: 出力 60キロワット×3基
- ブレーキ: 常用ブレーキ(電気指令式電磁直通空気ブレーキ、回生発電ブレーキ)
保安ブレーキ(電気指令式空気ブレーキ)
- 最高走行速度: 65Km/h
- 座席: ロングシート(座席数43席)(セーレン製造)
- 製造者: アルナ車両株式会社
- 車内モニター: 4台
- 車両導入費用: 約3億9千万円(試験費、車載機器費含む)



※令和5年2月23日(木、祝)に、北府駅構内において一般の方を対象に試乗会、見学会を開催

※令和5年2月25日(土)に、北府車両基地において各報道機関 関係者向け車両内覧会を開催

※ 令和5年3月25日(土)、3月26日(日)に、一般の方を対象に、越前武生駅～田原町駅間で新型車両「フクラムライナー」の試乗会(貸切)を開催

令和5年 大雪による輸送障害

1月29日 F1003



12時30分、田原町を14分延発した第1150R列車より商工会議所前交差点にて雪を抱え起動不能。
13時55分、浅水上り場内信号82R付近で再度雪を抱え起動不能

1月31日 F1002



8時10分、花堂駅18分延発第711R列車より月見町踏切武生方にて起動不能。

1月26日 デキ11



10時32分、軌道線除雪のためデキ11を赤十字前構内にて運転したところ福井新南踏切内にて脱輪。

【報告事項(1)②】

越前市を運行する福井鉄道(バス)の現況について

	路線名	主要停留所	行先	キロ程	運行する時間帯				運行する目的	実績年度	学生定期 (人/日)	通勤定期 (人/日)	現金・回数券 (人/日)	福祉券利用 (高齢者) (人/日)	計 (人/日)	その他コロナ影響について		
					期間	時間帯	往	復										
1	武生越前海岸線	織田	かれい崎	往 33.7km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	3 1 2	4 2	・越前町を起点に越前市内の各高校への通学路線 ・JR武生駅を起点とする越前海岸への観光路線として県外客の冬利用がある。	平日	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	143 99 195 90	1 1 1 0	20 12 51 25	35 19 23 4	199 131 270 119	・全体的に大きく利用が減少している。	
				復 33.9km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	3 1	4 1		土日祝	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	29 29 23 16	0 0 0 0	17 12 21 21	22 12 9 4	68 53 53 41		
2	池田線	R1年度まで	入谷 稲荷 和紙の里	循環線	往 52.4km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	2(入谷先) 1(今立先) 2(今立先)	・越前市内から味真野地区・今立地区内と池田町を結ぶ路線 ・沿線に武生東高校があることから通学生の利用があるものの、南越線との競合路線となっている。	平日	R1年度	31	1	19	9	89	・全体的に大きく利用が減少している。	
					復 52.4km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	1(今立先) 2(入谷先)		土日祝	R1年度	4	0	10	15	0		
		R2年度～	稲荷 和紙の里	魚見・金山	往 35.2km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 2 1 1	2 3	・競合路線が存在することを解消すべく循環路線を改め池田町を終点とする振り子型路線に改編する。 ・旅客輸送を目的とする他に路線の活用術として貨客混載バスとして継続運行中 【月別積載個数】 :個	平日	R2年度 R3年度 R4年度	26 50 28	0 2 1	21 48 13	11 16 6		58 116 48
					復 35.4km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	3 3	3 3		土日祝	R2年度 R3年度 R4年度	3 1 6	0 0 0	7 10 12	15 10 4		25 21 22
3	南越線	R1年度まで	武生東高校	和紙の里	往 14.0km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	3 4 2 3	・武生東高校への通学路線。 ・JR武生駅を起点とする和紙の里への観光路線として県外客の利用がある。	平日	R1年度	106	1	62	27	196	・高齢者の利用は維持できているが、通学生の利用が大きく減少している。	
					復 12.9km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	6 6		6 6	土日祝	R1年度	46	1	38	53		138
R2年度～	武生東高校	和紙の里	往 14.0km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	3 4 1 2	3 3	・乗車密度の向上を図らなければならないことから、生活路線としての需要が減る土日祝日を減便する。 ・土日祝日減便の輸送量を振り子型に交えた池田線でカバーする。	平日	R2年度 R3年度 R4年度	83 138 65	2 10 6	65 97 60	19 41 41	169 286 172			
			復 12.9km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	4 3	3 3		土日祝	R2年度 R3年度 R4年度	23 5 23	2 0 0	18 13 18	16 7 8	59 25 49			
4	王子保河野海岸線	JR王子保駅 河野	糠長島	往 25.2km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 2 1 1	1 2	・南越前町(河野地区)から越前市内への生活交通路線	平日	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	2 1 9 1	3 3 2 3	7 4 6 9	42 31 19 1	54 39 36 14	・通学生、高齢者の利用が減少している。	
				復 25.3km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	2(土3) 2(土4)	2(土4)		土日祝	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	0 0 0 0	1 1 2 0	5 6 1 6	21 18 6 8	27 25 9 8		
5	安養寺線	安養寺 織田 梅浦	越前岬	往 31.2km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 1 1	1	・越前町(左右・玉川)と安養から越前市内の各高校への通学路線	平日	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	15 8 13 3	0 0 0 0	4 2 5 1	2 1 0 1	21 11 18 5	・通学生の利用が減少している。	
				復 31.4km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	1 1	1		土日祝	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0		
6	白山線	菖蒲谷	千合谷	往 17.8km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 1 1	2 1	・白山地区から市街地への生活交通路線	平日	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	1 1 1 1	0 0 0 4	5 4 11 4	16 7 8 9	22 12 20 18		
				復 18.0km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	1 1	1		土日祝	R1年度 R2年度 R3年度 R4年度	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0		
8	入谷線	R1年度まで	仁愛大学 味真野	入谷	往 13.5km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 2 1	1 2	・味真野地区から市街地への生活交通路線 ・沿線には仁愛大学があり職員、学生の利用がある。	平日	R1年度	3	2	19	12	57	
					復 13.7km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	2 1	1		土日祝	R1年度	0	0	3	18	0	
		R2年度～	仁愛大学 味真野	入谷	往 13.5km	平日	7:00-8:59 9:00-15:59 16:00-18:59 19:00	1 3 1	1 3 1	・池田線の改編により味真野地区を運行しなくなったので、市単独路線である入谷線の運行本数を増便し輸送量を確保する	平日	R2年度 R3年度 R4年度	0 0 0	2 2 2	10 27 11	15 18 20	27 47 33	
					復 13.7km	土・日・祝	7:00-19:59 20:00	3 3	3 3		土日祝	R2年度 R3年度 R4年度	0 0 0	0 0 0	6 6 7	6 6 12	12 12 19	

市民バスについて

第1 年度別利用者数の推移（スクールバス利用含む）

市民バスの利用者数を令和2年度実績と比較すると、武生エリアにおいては5.9%の増加、今立エリアにおいては3.3%の減少となり、全体では3.3%の増加の62,078人の利用となったが、令和元年度と比較すると24.7%の減少となっている。

また、福祉バス（65歳以上の方や障がい者手帳の交付を受けた方が路線バスを市民バス同様100円で利用できる。）では、前年度比0.4%の増加の11,084人の利用となったが、令和元年度と比較すると38.2%の減少となっている。

市民バスと福祉バスを合わせた利用者数は73,162人で、前年度比2.8%の増加となっているが、令和元年度と比べると22.8%の減少となっている。

第2 ルート別利用者数の推移（スクールバス利用含む）

ルート別利用者数を令和2年度実績と比較すると、武生エリアでは市街地循環北、市街地循環南、坂口・神山、王子保・南ルートで利用者が増加、今立エリアでは服部ルートで利用者が増加した。

令和元年度と比較すると、武生エリアでは全ルートで利用者が減少しており、今立エリアでは水間ルートで利用者が増加したが、月尾、服部ルートは減少している。

ルート	スクールバス利用	増減	考察
①市街地循環北ルート	なし	+6.4%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛の影響が出ていたが、令和3年度は回復傾向にある。ただし、令和元年度と比べると依然利用者数は減少しており、コロナ以前の回復には至っていないと考えられる。
②市街地循環南ルート		+5.7%	
③吉野・大虫ルート		▲0.1%	
④坂口・神山ルート		+28.4%	
⑤王子保・南ルート		+36.7%	
⑥国高・北日野ルート		▲11.4%	
⑦味真野・北新庄ルート		▲18.2%	
⑧白山・大虫ルート		+12.5%	
⑨月尾ルート	あり	▲4.0%	
⑩水間ルート		▲9.0%	
⑪服部ルート		+8.3%	

第3 令和3年度運転免許自主返納の状況

本市では、運転免許を自主返納した65歳以上の市民に対して、市民バスに無期限・無料で乗車できるサービスを実施している。市が発行する無料乗車券の交付件数は、平成29年度から年間20～30件程度となっている。

運転経歴証明書交付数は、令和3年度は259件となり、前年度の254件に比べ5件増加しているが、令和元年度と比較すると25件減少している。

また、令和3年度の運転免許自主返納者の市民バス乗車数は11,080人で、前年度比12.2%の増加となっているが、令和元年度と比較すると17%の減少となっている。

【報告事項(2)】

危険バス停の移設について

第1 危険バス停について

1 経緯

- 平成30年 8月 横断歩道とバス停が近接する道路で死亡事故が発生（横浜市）
- 令和 元年12月 国土交通省自動車局から各地方運輸局、日本バス協会等に対し、バス停の実態把握や安全対策を講じるよう通達
福井運輸支局が実態把握に係る調査を開始
- 令和 2年 8月 国土交通省自動車局から各地方運輸局、日本バス協会等に対し、危険バス停の安全上の優先度の判定方法及び除外事例についての通達
- 令和 3年 1月 福井運輸支局、福井県バス協会、福井県内各警察署、各市町（勝山市、若狭町除く）、バス事業者等を構成員とする福井県バス停留所安全性確保合同検討会（以下「検討会」という。）が設立
福井県内の危険バス停191箇所（うち、越前市61箇所、鯖江市36箇所、福井市22箇所、ほか72箇所）をとりまとめたリストを検討会が公表
- 令和 3年 3月 分科会が開催され、危険バス停移設への取組み方針が具体化

2 抽出条件

バス停留所安全性確保対策実施要領にて、「バスがバス停留所に停車した際に交差点又は横断歩道にその車体がかかるバス停留所」または、「バスがバス停留所に停車した際に交差点又は横断歩道の前後5mの範囲にその車体がかかるバス停留所」という条件が定められている。

(1) 優先度のランク分け（別冊資料4）

ア Aランク

- (ア) 過去3年以内に停車したバスが要因となる人身事故が発生している
- (イ) バスがバス停留所に停車した際に横断歩道にその車体がかかるバス停留所

イ Bランク

- (ア) Aランク以外で、バスがバス停留所に停車した際に横断歩道の前後5mの範囲にその車体がかかるバス停留所
- (イ) Aランク以外で、バスがバス停留所に停車した際に交差点にその車体がかかるバス停留所

ウ Cランク

- (ア) A又はBランク以外で、バスがバス停留所に停車した際に交差点の前後5mの範囲にその車体がかかるバス停留所
- (イ) A又はBランク以外で、地域住民等の意見や各都道府県の実情に応じて抽出したバス停留所

3 越前市内バス停留所該当箇所数について（別冊資料5）

令和4年12月31日現在、合計56箇所が該当している。

(1) 市民バス箇所数

37箇所

(Aランク0箇所 Bランク20箇所 Cランク17箇所)

(2) 路線バス箇所数

19箇所

(Aランク2箇所 Bランク11箇所 Cランク6箇所)

第2 市民バス停留所について

令和3年度にて、市民バス運行事業者に危険バス停の移設先の提案業務を委託し、報告書が提出されたものから順次関係者（越前警察署、道路管理者、地元区長、地権者等）と協議を行っている。

前回の令和3年度第1回越前市地域公共交通会議（令和3年8月24日開催）以降、令和5年3月現在において、1箇所の移設が完了している（別冊資料6）。

第3 路線バス停留所について

前回の令和3年度第1回越前市地域公共交通会議（令和3年8月24日開催）以降、令和5年3月現在において、2箇所の移設が完了している（別冊資料6）。

福井鉄道福武線の駅名変更に伴う 路線バス、市民バス停留所の名称変更について

福井鉄道では、北陸新幹線「越前たけふ駅」設置に伴い、「越前武生駅」を「たけふ新駅」に変更した。

それに伴い、路線バス及び市民バスにおいても、下記のとおり「越前武生駅」停留所を「たけふ新駅」に名称変更を行った。

記

1 変更内容 「越前武生駅」停留所を「たけふ新駅」に名称変更

2 変更時期 令和5年2月25日

3 対象路線 市民バス

- ・市街地循環北ルート
- ・市街地循環南ルート
- ・吉野・大虫ルート
- ・坂口・神山ルート
- ・王子保・南ルート
- ・国高・北日野ルート
- ・味真野・北新庄ルート
- ・白山・大虫ルート

路線バス

- ・武生越前海岸線
- ・南越線
- ・池田線
- ・白山線
- ・王子保河野線

【報告事項(4)】

越前たけふ駅二次交通需要調査結果概要について

令和5年3月22日

企画部総合交通課

1. 調査実施概要

- ・ JR 武生駅、JR 鯖江駅において特急利用者を対象にインタビュー調査を行った。
- ・ また、越前市を訪れている観光客の特性を把握するため観光施設来訪者にアンケートを行った。

(1) JR 武生駅利用者調査

調査方法	駅構内及び待合室においてヒアリングを実施
対象者	武生駅における特急利用者
調査日時	令和4年5月4日(祝)、5日(祝)、12日(木)、13日(金)
サンプル数	県外居住者 187票(ヒアリング:173票、WEB:14票) 県内居住者 154票(ヒアリング:149票、WEB:5票) 計 341票

(2) JR 鯖江駅利用者調査

調査方法	駅構内及び待合室においてヒアリングを実施
対象者	鯖江駅における特急利用者
調査日時	令和4年5月4日(祝)、5日(祝)
サンプル数	県外居住者 90票(ヒアリング:52票、WEB:38票) 県内居住者 40票(ヒアリング:23票、WEB:17票) 計 130票

(3) 観光施設調査

調査方法	市内観光施設において依頼文(QRコード付)を配布し、スマートフォン等から回答するインターネット調査
対象者	市内観光施設来訪者
調査期間	令和4年4月27日(水)～5月16日(月)
サンプル数	175票

(4) JR 金沢駅利用者調査

調査方法	金沢駅のコンコースにいらっしゃる旅行者(キャリーバッグ等持参されている方)に声をかけ、北陸新幹線利用者にヒアリングを実施
対象者	新幹線を利用して金沢を訪れた方
調査日時	令和4年4月26日(火)～28日(木) 8:00～20:00
サンプル数	413票(ヒアリング:399票、WEB:14票)

(5) 首都圏居住者調査(「首都圏調査」と記載)

調査方法	ネットリサーチ企業に依頼し、インターネット調査を実施
対象者	東京都、神奈川県、埼玉県在住者(人口、年齢階層によりサンプルを配分)
サンプル数	446票

2. 調査結果概要

(1) 観光二次交通調査結果

観光二次交通としては、定額タクシーの需要や、越前たけふ駅－武生駅間移動の需要が高い。広域での移動を考慮すると他市町の協力が必要
少人数の旅行がメインなので、タクシーで対応可能。
二次交通利用のピーク時間帯は9時～18時。
定額タクシーの周知が不足している。また、キャッシュレスの対応が求められている。

(2) 地域二次交通（市内・県内居住者の二次交通）結果

地域二次交通としては、自家用車がメイン。しかし、駅間の移動需要は高い。
越前たけふ駅の利用者増を考慮すると、鯖江駅利用者を取り込む必要あり。
県外への移動は8時～10時がピーク時間帯。
キャッシュレスの対応、オンライン予約が求められている。

(3) 地域二次交通（市内大手企業の二次交通）

北陸新幹線の敦賀延伸後も、市内企業は東海道新幹線を使う傾向にある。
（関連企業が東海道側にあるため）
駅からの交通手段はタクシーがメイン。駅までの交通手段としては、自動車メイン。

3. 二次交通選定案

- ・定額タクシーをメイン
- ・ピーク時間帯などすべての時間帯の需要に対してタクシーだけでは不足
(朝、夕は企業の送迎、地元住民の通院等で台数が不足)
- ・越前たけふ駅の利用者が多い時間帯は、定額タクシーの補完としてデマンド交通（小型車両）を運行（不定期不定路線停留所方式）
- ・キャッシュレス決済の導入や事前予約の検討

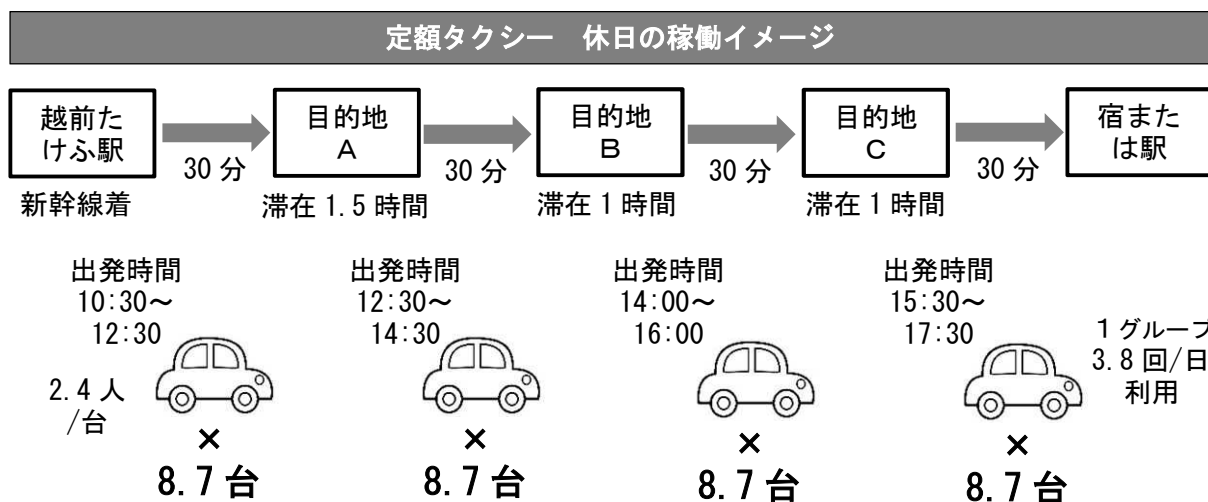
(1) 【観光二次交通導入の考え方】

- 1) 越前たけふ駅からは、多様な観光拠点への移動ニーズがあるため、周遊ルート等の固定ルートではなく、定額タクシータイプの二次交通がニーズに合っていると考えられる。

運行方法：定額タクシー〔事前チケット購入、電話予約〕
 利用時間：9：00～19：00〔朝の一般客との重複を防ぐため9：00以降とする〕
 利用範囲：現在の乗降可能場所（越前市内）
 丹南地域移動に関しては、自治体やタクシー事業者との協議が必要
 〔丹南地域のタクシー事業者とも連携可能であるが営業エリアに留意が必要〕
 その他：事前予約・キャッシュレス決済に対応し、利用者の利便性を高める

2) 利用者数の試算（休日）

観光二次交通（定額タクシー）の休日の利用者数（実人数）は20.9人（1グループあたり2.4人×8.7グループ）、1日あたりの稼働台数は33.1台（8.7台×3.8回）と考えられる。



図表 定額タクシー利用者数の試算（休日）

	越前たけふ駅開業時	備考
①対象となる利用者	1,535人	注1：在来線からの転換に首都圏方面からの転換、誘発を加えた人数
②県外居住者の利用率	50%	注2：類似都市（休日の黒部宇奈月温泉駅）事例より
③降車人数割合	50%	乗車・降車を同数とする
④観光目的の利用割合	17%	注3：武生駅調査（休日）

⑤迎車でGO利用割合	32%	注4：観光施設調査
⑥1グループの同行者数	2.4人	注5：観光施設調査
⑦1日あたりの利用回数	3.8回	注6：観光施設調査
⑧1日あたり利用者数(実人数)	20.9人	①×②×③×④×⑤
⑨1日あたり利用者(のべ人数)	79.3人	⑧×⑦
⑩1日あたり稼働台数	33.1台	⑧÷⑥×⑦

3) 時間帯別の稼働台数(標準)

観光施設調査において、観光周遊に利用した交通の利用時間帯を聞いている。

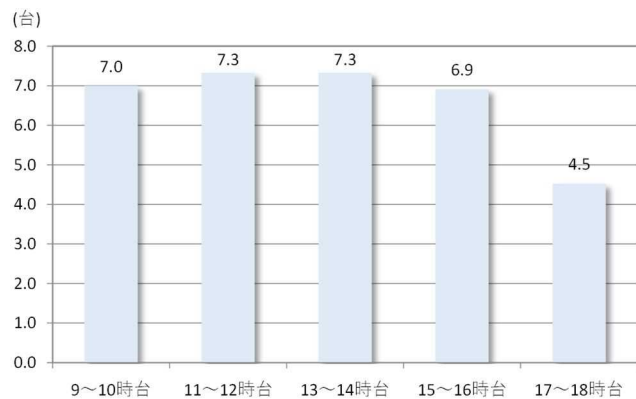
この調査結果を用い、時間帯別の「定額タクシー」の稼働台数を算出すると下図のとおりである。

9～16時台は2時間で7台前後の稼働が見込まれ、前述の稼働イメージに近い。

図表 周遊交通利用時間帯
(観光施設調査 複数回答可)

～6時台	7%
7～8時台	17%
9～10時台	56%
11～12時台	59%
13～14時台	59%
15～16時台	55%
17～18時台	36%
19～20時台	13%
21時台以降	5%

図表 定額タクシーの時間帯別稼働台数

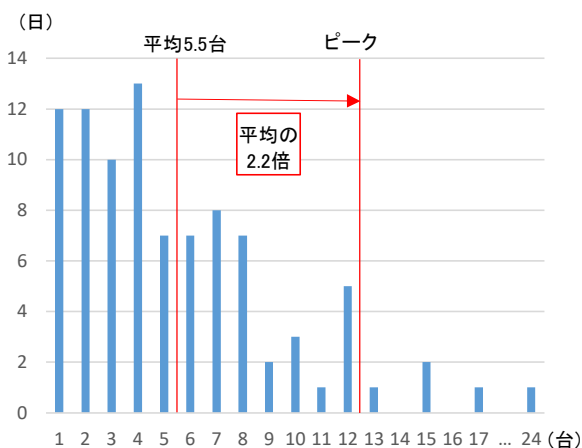


4) 年間の変動

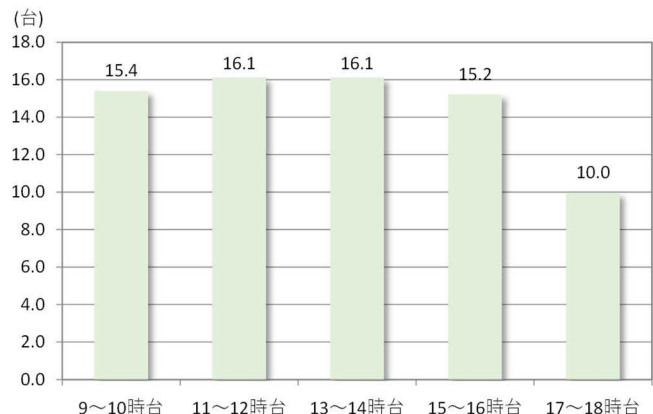
定額タクシーの休日における年間の変動を、2021年4月～2022年2月の利用実績を用いて整理すると、日あたり平均5.5台の稼働に対し、特異的に稼働が多い日があるものの、概ね12台/日(平均の2.2倍)に収まっている。

北陸新幹線敦賀延伸後の1日あたりの稼働台数は平均33.1台を見込んでいるため、ピークの日には72.8台(33.1台×2.2)の稼働が想定される。時間帯別にみると、8～16時台は2時間で16台前後(1時間当たりでは8台前後)と考えられる。

図表 定額タクシーの年間の変動(休日)
(2021.4～2022.2)



図表 定額タクシーの時間帯別稼働台数
(年間におけるピークの日)



5) キャッシュレス決済（デジタル乗車券の導入）

定額タクシーは利用前に「乗車手形」の購入が必要であるが、スマートフォン等で事前購入できるシステムを導入することにより旅行者の利便性が向上する。福武線（福井鉄道）に導入されている「RYDE PASS」のシステムを活用し、スマートフォンで必要な乗車回数分をキャッシュレス購入できるシステムの導入を目指す。合わせて、事前予約や共同配車の可能性を探る。

6) 丹南地域の主要観光拠点への観光シャトル

丹南地域の主要観光拠点に関しては、距離の遠い観光拠点も多いため、料金、費用負担について関連自治体と協議を進め、観光ハイシーズンの期間限定運行から始めるなど、需要を確認しながら導入を進める。

(2) 【地域二次交通導入の考え方】

1) 越前たけふ駅～武生駅間の交通は定額タクシーを補完する形で、利用者の状況を把握しながら移動サービスを提供するため、需要に柔軟に対応可能な市民バスの「デマンド運行」とする。定額タクシーに関しては、将来的に乗合方式の導入を進める。

運行方法：ピーク時間帯（8～10 時台、18～22 時台）	定額タクシー＋デマンド運行
オフピーク時間帯（ピーク時間帯以外）	定額タクシー
利用範囲：越前たけふ駅～武生駅間	
利用者数：1 日あたり 42.2 人，ピーク時 5.1 人/時（10 時台、越前たけふ駅行き）	
使用車両：ピーク時間帯 タクシー車両（～9 台）＋ジャンボタクシー（1 台）	
オフピーク時間帯 タクシー車両（～9 台）	
その他：キャッシュレス決済に対応するため、観光二次交通と同様にアプリ等で事前購入可能となるよう検討	
乗合化：特急を利用する県内居住者は1 人で移動する割合が高い。新幹線のダイヤに合せた需要が多いため、オフピークは乗合方式を検討する。	

2) 武生駅～越前たけふ駅間のバスの利用者数は 42.2 人/日、ピーク時間帯の利用者数は 5.1 人/時と考えられる。（これ以外にタクシー利用者も想定される）

図表 武生駅～越前たけふ駅間のバス利用者数の試算

	越前たけふ駅開業時	備考
①対象となる利用者	1,535 人	注1：在来線からの転換に首都圏方面からの転換、誘発を加えた人数
②県内居住者の利用率	55%	注2：類似都市（平日の黒部宇奈月温泉駅）事例より
③武生駅～越前たけふ駅間バス利用意向	5%	注3：武生駅調査 ※タクシーも同割合
④バス利用者数（1 日あたり）	42.2 人	①×②×③
⑤乗車人数割合	50%	乗車・降車を同数とする
⑥バス利用による乗車人数	21.1 人	④×⑤

⑦乗車ピーク率	24%	注4：武生駅調査
⑧ピーク時間帯利用者数	5.1人	⑥×⑦

3) 運行ルート

ピーク時間帯の運行方法として路線バスの延伸、市民バスの運行が考えられる。

路線バスの延伸に関しては、運転手の不足、赤字の増加が見込まれるため困難であり、デマンド型の市民バスの運行を検討する。



4) 運行ダイヤ

新幹線ダイヤに合せ、越前たけふ駅を朝出発する便に対しては8～10時台の4便、越前たけふ駅に夕方以降到着する便に対しては18～22時台の10便を路線定期運行で運行する。その他の時間帯は、迎車でGO方式で対応する。

図表 越前たけふ駅利用者の運行ダイヤ（目安）

大阪方面へ		← 新駅着		→ 時刻		東京方面へ	
便名	時刻	時刻	時刻	時刻	便名		
		6:30	6:40		はくたか 554		
		7:30	7:40		はくたか 556		
はくたか 591	8:22	8:12	8:38		はくたか 558		
はくたか 551	10:18	10:03	10:13		はくたか 560		
		11:03	11:13		はくたか 562		
はくたか 553	11:45	11:35					
はくたか 555	12:32	12:03	12:13		はくたか 564		
はくたか 557	13:12	13:02	13:13		はくたか 566		
はくたか 559	14:22	13:53	14:03		はくたか 568		
はくたか 561	15:03	14:53	15:26		はくたか 570		
はくたか 563	16:03	15:53	16:07		はくたか 572		
はくたか 565	17:03	16:53	17:26		はくたか 574		
はくたか 567	18:03	17:53	18:19		はくたか 576		
はくたか 569	19:06	18:56	19:34		はくたか 578		
はくたか 571	20:21	20:11					
		20:41	20:51		はくたか 590		
はくたか 573	22:02	21:52					
はくたか 575	23:02	22:52					

大阪方面から		→ 新駅発		← 時刻		東京方面から	
便名	時刻	時刻	時刻	時刻	便名		
はくたか 554	6:40	6:50					
はくたか 556	7:40	7:50					
はくたか 558	8:38	8:48	8:22		はくたか 591		
はくたか 560	10:13	10:28	10:18		はくたか 551		
はくたか 562	11:13	11:23					
		11:55	11:45		はくたか 553		
はくたか 564	12:13	12:43	12:32		はくたか 555		
はくたか 566	13:13	13:23	13:12		はくたか 557		
はくたか 568	14:03	14:32	14:22		はくたか 559		
はくたか 570	15:26	15:36	15:03		はくたか 561		
はくたか 572	16:07	16:17	16:03		はくたか 563		
はくたか 574	17:26	17:36	17:03		はくたか 565		
はくたか 576	18:19	18:29	18:03		はくたか 567		
		19:16	19:06		はくたか 569		
はくたか 578	19:34	19:44					
		20:31	20:21		はくたか 571		
はくたか 590	20:51	21:01					
		22:12	22:02		はくたか 573		
		23:12	23:02		はくたか 575		

※新幹線ダイヤ 東京方面：金沢駅発時間に越前たけふ駅からの44分を減じて算出
 想定ケースB 大阪方面：金沢駅着時間に越前たけふ駅までの44分を加えて算出

5) 乗合タクシーの使用車両

北陸新幹線利用者に対するイメージ戦略として、伝統工芸・ものづくりが盛んな地域ブランドを高めるため車両デザインを重視するとともに、EV車両とするなど社会問題への取組も進める。



「ポンチョ・ミニ」(日野自動車)



VWが販売を予定している新型EVの「ID.Buzz」

6) キャッシュレス決済 (デジタル乗車券の導入)

「RYDE PASS」のシステムを活用し、スマートフォンで必要な乗車回数分をキャッシュレスで購入し乗降できるシステムの導入を目指す。

7) 乗合システム (オフピーク時)

オフピーク時間帯は「定額タクシー」方式とするが、1人で移動する割合が高いことから、乗合方式で需要を集約する運行を検討する。

武生駅⇄越前たけふ駅 乗合システムの整理

時間帯	方式	運賃例	運行方法
ピーク時間帯 (8～10、18～22 時台)	乗合	350 円/人	路線バスの延伸：乗合バス会社が運行
			乗合タクシー：タクシー会社が乗合許可を受け運行
オフピーク時間帯 (ピーク時間帯以外)	乗合	350 円/人	タクシー会社が乗合許可を受け運行
		運賃を按分	「相乗りサービス」を活用
	貸切	500 円/台	現行の定額タクシーと同様

8) 利用ピーク時間帯の設定

■乗車時間帯 (朝ピーク)

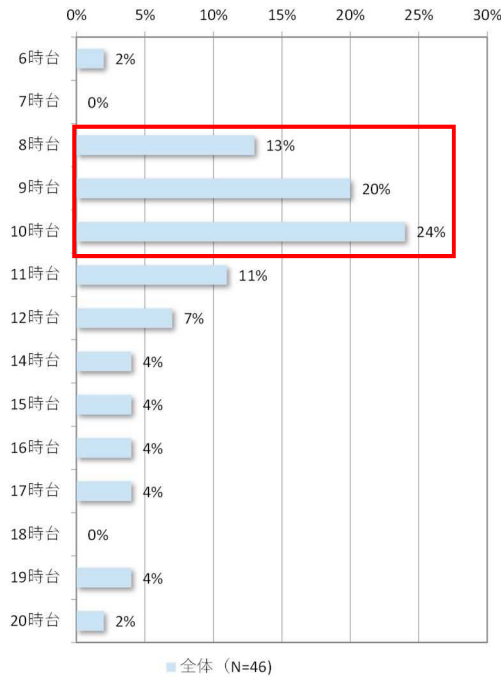
- ・武生駅調査では、特急を利用する県内居住者における特急の出発時刻は10時台が最も多く、次いで9時台、8時台が多い。また鯖江駅(県内)では9時台が突出して多い。
- ・新幹線開業後、首都圏までの所要時間は大きく変わらないため、越前たけふ駅の朝の利用ピークは8～10時台と考えられる。

■降車時間帯 (夕ピーク)

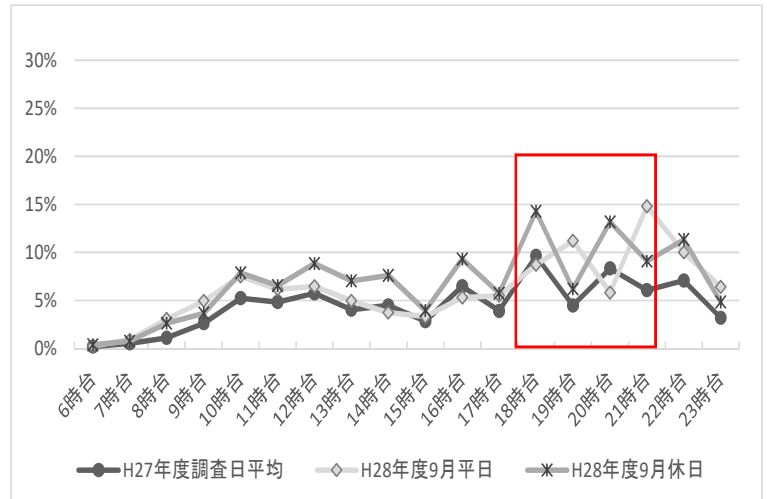
- ・新高岡駅における時間帯別降車人数(2016年)をみると、平日は19～21時台が多く東京駅を16～18時台に出発している。休日は平日より約1時間早く18～20時台が多い。東京駅を15～17時台に出発している。

- ・はくたか利用では、新高岡駅～越前たけふ駅の所要時間は約1時間である。
- ・一般的に利用者は出発駅の発車時刻または到着駅の着時刻を目安に便を選ぶことから、越前たけふ駅の夕方以降の降車ピークは18～22時台と考えられる。

図表 特急の出発時刻（武生駅調査・県内）



図表 新高岡駅における時間帯別降車人数



出所：第11回新幹線まちづくり推進高岡市民会議資料
(2017.2.1)

(3) 観光2.5次交通、三次交通（誘客促進の検討より）

観光二次交通の導入に合せ、より観光が楽しくなるための交通導入を検討する。

①観光2.5次交通（超小型モビリティ）

丹南地域で考えると観光拠点の目的地は多様で距離もあるが、越前市内に限定すると一定の距離内に主要なスポットが収まっている。近距離専用の超小型モビリティを用いたレンタカーを用意し、気軽に周遊できる環境を強化する。



株式会社TOPのHPより

②観光三次交通（シェアサイクルや電動キックボード）

スマホで予約・決済が可能なシェアサイクル、道路交通法の改正により公道での走行ルールが明確になった電動キックボードなど、旅行者が利用したくなる観光三次交通を導入し、滞在の魅力向上を図る。



L u p のHPより

4. 期間

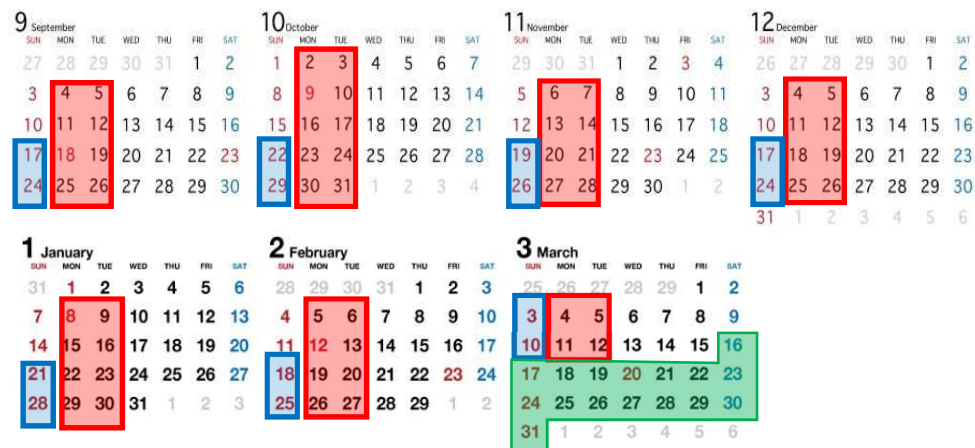
令和5年9月から令和6年3月末

①令和5年9月～令和6年3月15日・・・
月、火の8時～17時（9時間） 54日間

②令和5年10月～令和6年3月15日・・・
道の駅のイベント開催時（2日間/月×7ヶ月）
の8時～17時 14日間

③令和6年3月16日～31日（新幹線開業後）・・・
毎日8時～21時（13時間） 16日間

※令和6年度は市民バスの一部をデマンドに転換して、継続した実証実験を行いたい。



5. エリア

市民バスのルートに基づき2エリアで実施

- ・国高・北日野+味真野・北新庄の一部エリア
※越前たけふ駅と武生駅間の二次交通+デマンド転換の可能性把握と需要発掘のため
- ・今立エリアの一部（月尾、服部、水間）
※利用者が少ない今立エリアのデマンド転換の可能性把握と需要の発掘のため

6. 車両種別と台数

- ・市内交通事業者のハイエース or ジャンボタクシー 2台
※1 エリア 1 台。最小規模でどこまで対応可能なのか探る

7. 料金

実証実験期間中は路線バスや市民バス、定額タクシーとの料金を比較し検討

※定額タクシーの料金設定を将来的には再検討する必要あり

※県内他市町のデマンド交通の運賃は、200円～600円（相乗りすることで、料金が低減する自治体もあり）

8. その他

本実証実験の結果を踏まえて市民バス再編計画の策定を行う。これにより、利用者がより便利に、自由に移動できる環境を整備するとともに、駅間二次交通と市民バスの効率的な運行を実現する。

【報告事項(5)】

坂口地区における自家用有償旅客運送事業について

R5.3.22 令和4年度第2回地域公共交通会議資料
企画部 総合交通課

- 1 条件不利地の移動支援
- 2 自家用有償旅客運送
- 3 坂口地区の経緯
- 4 課題及び対応策
- 5 予算
- 6 事業の仕組み、実証実験の内容
- 7 事業スケジュール

I 条件不利地の移動支援

中山間地域で生活する高校生や高齢者、障がい者等の移動制約者の足を確保するため、条件不利地の移動支援に重点を置き、デマンド交通の実証実験を実施

坂口地区 ～現状と課題～

- ・市民バスは 週2回運行
(まちなかまで 50分乗車)
- ・タクシーは まちなかまで4~5千円
予約が取れないことも



- ・高校生や高齢者の移動に支障
- ・通学・通院や買い物の足の確保が必要

さかのくち買い物号 (月1回運行)
ボランティアによる買い物支援



地域住民による輸送サービス
(イメージ)



乗合タクシー (イメージ)

【参考】坂口地区の住民基本台帳人口等

	R4.4.1現在 ①	H26.4.1現在 ②	比較増減 ①-②
世帯数	132世帯	151世帯	▲19世帯
高齢者のみの世帯	50世帯	51世帯	▲1世帯
人口	387人	457人	▲70人
(内訳) 男	181人	211人	▲30人
女	206人	246人	▲40人
65歳以上	160人	164人	▲4人
高齢化率	41.3%	35.9%	+5.4%

2 自家用有償旅客運送とは

既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとったうえで、市町村やNPOの法人等が自家用車を用いて提供する輸送サービス

「自家用有償旅客運送ハンドブック（令和2年11月改定）」を一部修正
（作成：国土交通省自動車局旅客課）

道路運送法による運送形態の分類

○特例での有償運送

区分	名称	運営主体	運行主体	運送対象	代表例
対象地域が交通空白地のみ	住民等のための「自家用有償旅客運送」 (交通空白地 有償運送)	市町村	市町村、バス・タクシー事業者、NPO等も可	・地域住民 ・観光旅客 ・当該地区の来訪者	白ナンバーのコミュニティバス・乗合ワゴン・個別輸送
		NPO等	NPO等		NPO等による住民の送迎サービス
利用対象者が要介護者等のみ	身体障がい者等のための「自家用有償旅客運送」 (福祉 有償運送)	市町村	市町村、バス・タクシー事業者、NPO等も可	限定 (要介護者等)及び付添人	自治体による障がい者や要介護者の送迎サービス
		NPO等	NPO等		NPO等による障がい者や高齢者等の送迎サービス

車両のナンバー：白ナンバー

運転免許：二種運転免許保有 又は 一種運転免許保有 + **国交大臣認定講習の受講**

運送料：有償（原価程度）

「地域の支え合いによる交通（共助型交通）事例集より
（作成：福井大学地域・交通計画研究室）」

3 坂口地区の経緯

(1) 平成26年度

市民バスによるデマンド交通の試行運行実施（坂口・神山ルート）

① 結果

- ・ 現段階において、デマンド交通を導入しない。
（試行運転は1年で終了）

② 理由

- ・ 需要が少ない
（年間利用人数24人、稼働率12.2%、乗合率1.3人）
- ・ 予約に対する煩わしさがある。

3 坂口地区の経緯

(2) 令和4年3月

ふるさとミーティングで高齢者や高校生の移動手段の確保について、市に要望あり

(3) 令和4年5月

要望を受け、地区自治振興会役員に高齢者の移動について状況をお聞きした。

3 坂口地区の経緯

《現行》（さかのくち買い物号）

- ① 市社会福祉協議会（デイサービスセンター芦山）の車両を借用
月1回の運行、高齢者の買い物の送迎、利用料：無料
（行き先：市内のホームセンターやスーパー、薬局など）
- ② サポートさかぐちの役員（1名）が無償で運転
- ③ 利用実人数 約15人
一度に乗車できる人数は6人であるが、予約を断るケースはほとんどなく、利用調整できている。

3 坂口地区の経緯

(4) 令和4年6月

自治振興会役員から具体的な市の支援について要望あり

《要望内容》

- ① 国土交通大臣認定の受講費用に対する支援
- ② 車両の確保に対する支援

4 課題及び対応策

課題（Ⅰ）運転手の確保

- ・ 現行は、運転手1名で取組んでいる。
- ・ 今後は、地域で複数の運転手を確保。
利用者や運転手の安全確保のため、自家用有償旅客運送の大臣認定講習を受講したい。

対応策

- ⇒ 令和4年9月補正予算に計上
- ・ 令和4年10月22日に12名が大臣認定講習を受講

4 課題及び対応策

課題（2）車両の確保

- ・ 社協から借りている車両のガソリン代や保険などは、社協が負担
- ・ 今後回数を増やしたいため、自由に使える車が必要
- ・ 地域の取組みとして、運行回数を拡充
(現状月1回 ⇒ 週2回に拡充)

対応策

⇒ 令和5年度当初予算にて必要経費を計上

4 課題及び対応策

課題（3）交通事業者や関係機関との調整

- ・ 地域主体のデマンド交通により、運行形態のほか運用方法について、タクシー事業者や関係機関との調整が必要

対応策

⇒ 地域公共交通会議やタクシー事業者連絡会にて、事業者への情報提供や意見交換を行う。

4 課題及び対応策

課題（4）人材の確保

- ・ 県内で既に運行されている、地域主体によるデマンド交通
6事例のうち、5事例で運転手の後継者不足が課題
- ・ 坂口地区においても持続可能なデマンド交通のためには、
本格運行後も運転手や運転管理者の人材確保が必要

対応策

⇒ 将来的には、交通事業者による一部運行業務の委託
（運転管理、車両管理業務等）なども視野に検討

5 予算

(1) 予算の考え方

- ・ 令和4年度（準備）～令和5年度（実証実験）
- ・ 実証実験を市の事業として位置づけ、地域へ委託
 - ⇒ ① 委託料
 - ⇒ ② 使用料及び賃借料

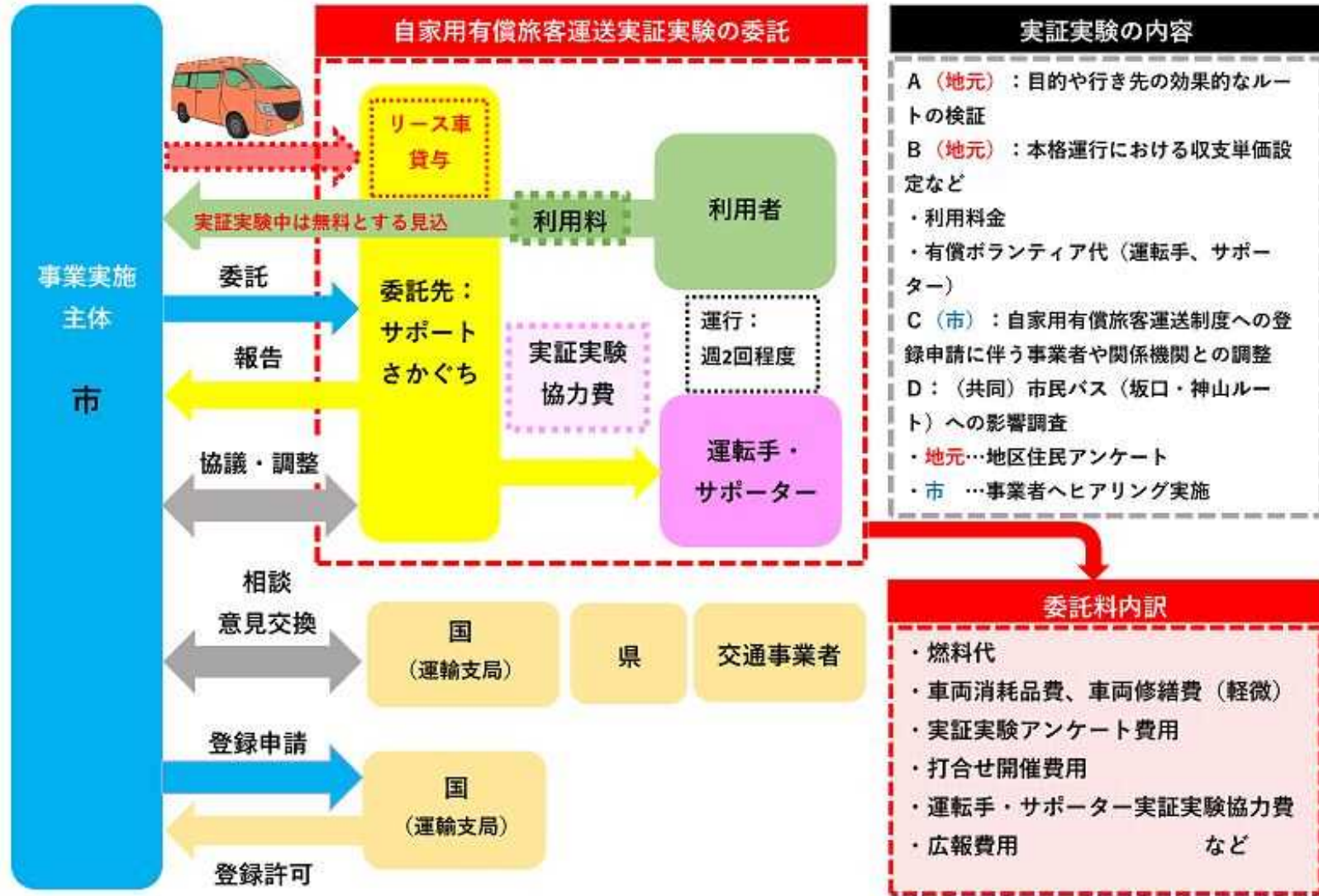
5 予算

(2) 予算内容・内訳

年度	区分	市予算		地元負担
		①委託料	②使用料及び賃借料	
令和4年度	実証実験の準備・検討	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通大臣認定講習料 (@16千円×12人) 192千円 コピー代等事務費 8千円 計200千円 	なし	なし
令和5年度	実証実験	<p>本格運行に向けた実証実験による試験運行や検討を委託 計1,410千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料代、車両消耗品代 実証実験アンケート 打合せ開催費用 実証実験協力費 活動保険加入料 など 	<ul style="list-style-type: none"> 車両リース料 1,056千円 (自動車保険含む) ※市名義のリース車両を団体へ無償貸与 	なし

6 事業の仕組み、実証実験の内容

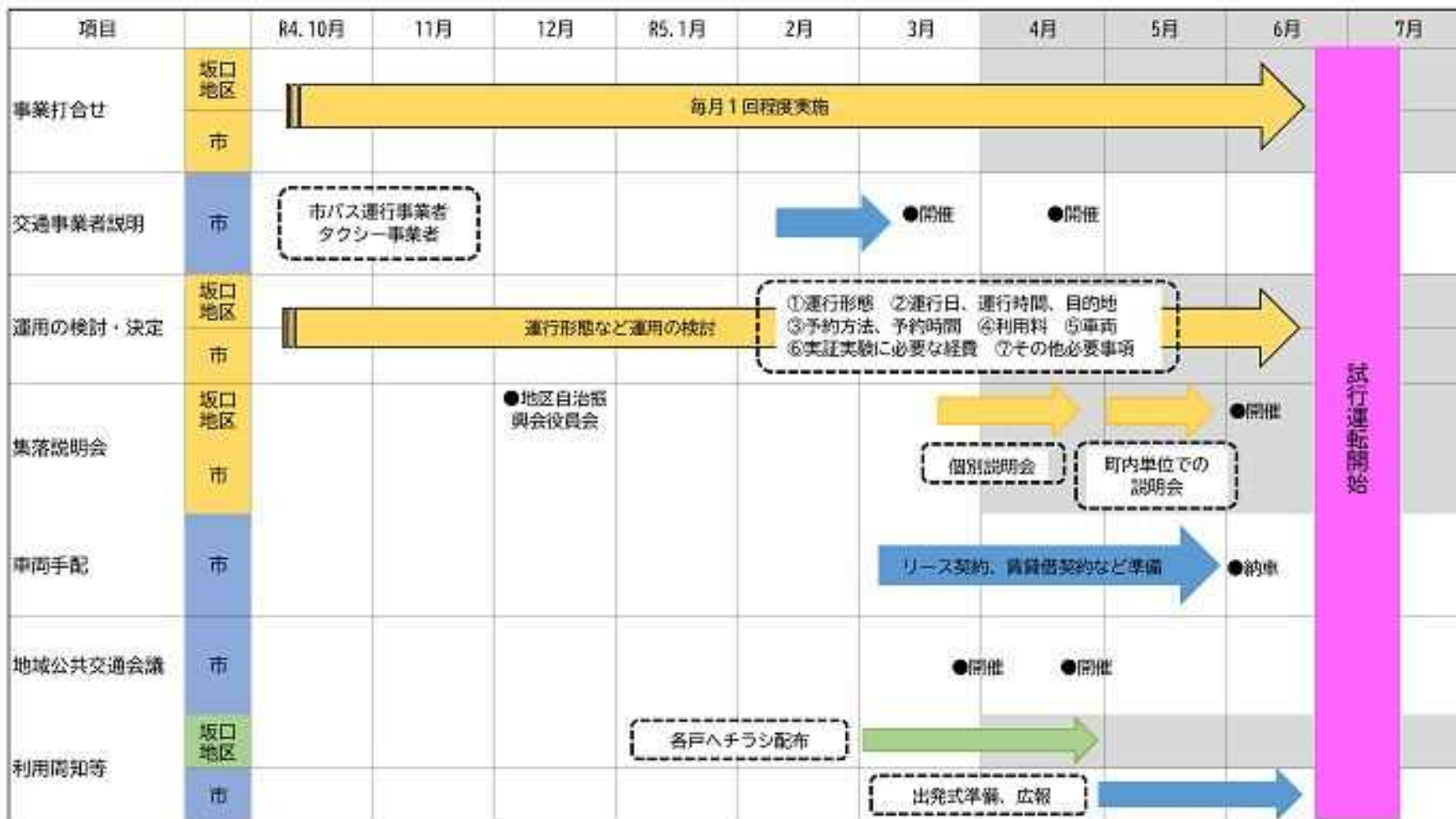
令和5年度自家用有償旅客運送実証実験の仕組み



7 事業スケジュール

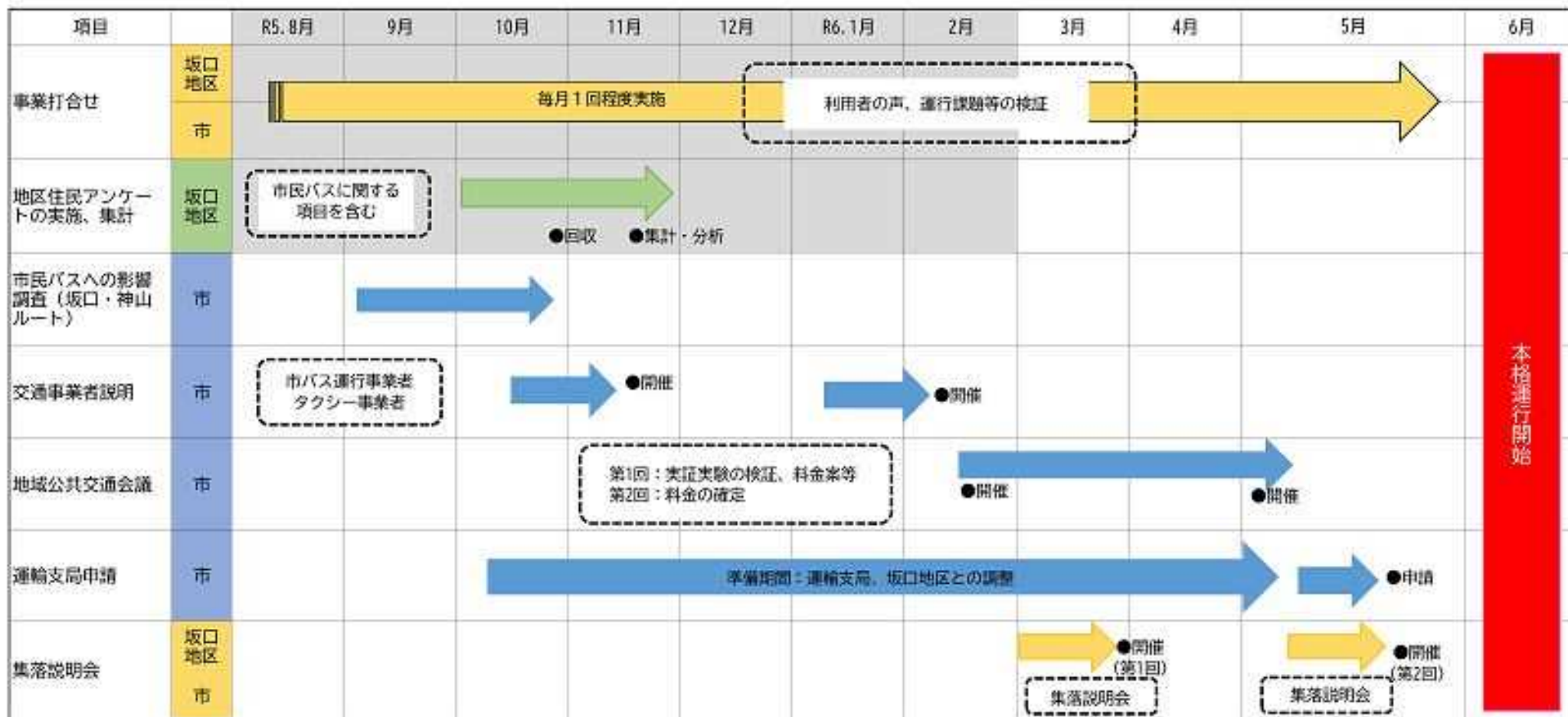
自家用有償旅客運送実証実験 事業スケジュール

①【実証実験準備期間（令和4年10月～令和5年7月）】



自家用有償旅客運送実証実験 事業スケジュール

②【実証実験中（令和5年8月～令和6年6月）】



【進捗状況】（実証実験の準備・検討）

（1）運行の基本

- ① 運行形態：自宅への送迎（ドア・ツー・ドア）
- ② 利用方法：事前利用登録制、予約制
- ③ 運行方法：週2回（週2日）を基本とする。
《目的》買い物目的、駅前方面（通院など）

【進捗状況】（実証実験の準備・検討）

（2）運行ルート（週2回）

① 買い物目的の運行：毎週木曜日（サポーター同乗）

- ・ 8時30分集合（運転手、サポーター）
- ・ 公民館9時発～自宅迎え～買い物～自宅送り～
- ・ 公民館11時30分着

行き先：みつわ、スギ薬局南店、ワイプラザ南店

※利用希望者が7名以上の場合は、午後の便を運行

- 第1・3木曜日 中山・湯谷・勾当原町方面
- 第2・4木曜日 中津原・下中津原・下別所町方面

【進捗状況】（実証実験の準備・検討）

② 駅前方面の運行：毎週金曜日（サポーター同乗）

・ 公民館 9 時発～自宅迎え～医療機関・市役所・駅前

・ 駅前 11 時 30 分発～自宅送り～公民館 12 時着

行き先：なんぶ眼科、林病院、中村病院、市役所など

（ ※駅前 13 時 30 分発～自宅送り～公民館 14 時着 ）

※通院等の時間に応じて、

迎えの時間を 13:30 に別途設定したり、

午後の便の運行を検討

【今後の予定】サポートさかぐち（坂口地区）

- ① ドライバー、サポーターとの合同打合せ（3/12）
 - ・ 運行ルートの確認
 - ・ シフト作成準備

- ② 地区内での説明（3月～4月開催）
 - ・ 自治振興会理事会、町内の総会会合
 - ・ いきいきふれあいのつどい、シニアクラブ

- ③ 広報活動（3/15）
 - ・ 地区全戸に広報チラシの配布

【今後の予定】市が行う手続き等

各種書類の作成や様式準備（実証実験実施に係る書類）

- ① 坂口地区と協力して作成
 - ・ 運転者の一覧、運転者台帳、運転者証、運行ルート図
 - ・ 運行管理及び車両整備管理体制
 - ・ 事故、苦情発生時連絡対応体制
- ② 市にて様式を準備
 - ・ 安全運転確認（アルコールチェック）、乗務記録、車両点検表、運転者台帳、事故記録、苦情処理 など
- ③ 市が実施…リース車両調達、坂口地区との賃貸借契約